

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 3月 6日更新

事務事業名	衆議院議員総選挙事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	選挙管理委員会	課長名	財津公正
	施策	14	市民参画によるまちづくりの推進			所属課	選挙管理委員会事務局	担当者名	右田裕治、歌野雅文
	施策の柱	42	地域づくり(まちづくり)活動機会の確保			所属班	選挙管理委員会事務局	(内線)	1223
予算科目	会計一般	款	項	目	事業連番	根拠法令	公職選挙法	最高裁判所裁判官国民審査法	成果優先度評価結果
									コスト削減優先度評価結果
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 24 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		( 年度 ~ 年度)			

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	衆議院議員総選挙の管理執行並びに最高裁判所裁判官国民審査の管理執行を行う。衆議院議員の任期は4年であるが、解散による総辞職があるため、平均では約3年となっている。定数は、小選挙区(各都道府県)で300人、全国を11ブロックに分けた比例代表で180人の合計480人である(日本国憲法第45条)。衆議院議員は、平成30年12月15日で任期満了となるが、任期満了の場合は30日以内に、解散の場合は40日以内に選挙が執行される。 当市では、衆議院熊本第3区選出議員選挙で定数1名、衆議院比例代表九州ブロックで21名の議員が選挙される。 当日投票に行けない選挙人のために、期日前投票所を11日間(国民審査は7日間)合志庁舎、西合志庁舎の2箇所、午前8時30分から午後8時まで実施する。当日投票所は市内20箇所、投票時間は午前7時から午後7時まで(1時間繰上げ)を行う。その他の投票制度に、滞在市町村での不在者投票、一定の障害を持つ方のための郵便等による不在者投票、指定施設による不在者投票、在外選挙人投票などを受付ける。 開票は当日の午後8時00分から合志市総合体育館(ウィーブルメインアリーナ)で即日開票を行う。
【業務の流れ】	①選挙管理委員会の開催、②投票所、開票所の指定、③ポスター掲示場設置、④資材、消耗品等の準備、⑤選挙人名簿の調製、⑥投票入場券作成と発送、⑦投票管理者・同職務代理人・投票立会人の選任、⑧投票・開票事務従事者の選任、⑨期日前投票事務従事者説明会、⑩啓発活動、⑪選挙違反に対する注意・指導、⑫期日前投票所の設営、⑬不在者投票、郵便による不在者投票の受付開始、⑭選挙公報の配達、⑮当日投票事務、開票事務従事者説明会の開催、⑯投票所、開票所の設営、⑰交付機・計数機等の点検、⑱当日投票事務、⑲当日開票事務、⑳県選管へ結果報告、(21)選挙録・開票録の検収、(22)選挙委託費の実績報告・委託費の請求
【主な予算費目】	・報酬、職員手当等、賃金、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費
【意見や要望】	衆議院議員総選挙では、小選挙区の区割りにおいて、最高裁判所が有権者における1票の格差があるとして「違憲状態」の判決が出ている。そのため国会では、法律の改正が行われ、今回の選挙で定数が5減される予定である。それでも、一票の格差の問題は解決していない。参議院議員通常選挙と投票の仕組みが異なり、選挙人からは制度がわかりづらいとの声がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動)27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO) 今年度実施なし	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 次年度はなし
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア:候補者数(小選挙区)	選挙の執行を終えたことによる減
イ:候補者数(比例代表)	政党
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
・選挙人(有権者)	ア:当日有権者数
・投票管理者、投票立会人、事務従事者	イ:投票者数(小選挙区)
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
法律に定められた選挙に関する事務の適正な遂行を管理する。	ア:選挙執行において問題となった件数
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠	
選挙は公平・公正に選挙人にわかりやすいように執行させることが求められている。問題が無いように執行させることが求められている。	
総トータルコスト 全体計画 ～ 年度	
0	

(2)各指標・総事業費の推移	単位	25年度	26年度	27年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
①活動指標	人	0	2	0	0	4	0	0	0	
	政党	0	9	0	0	10	0	0	0	
②対象指標	人	0	45,251	0	0	46,100	0	0	0	
	人	0	22,991	0	0	29,960	0	0	0	
③成果指標	件	0	1	0	0	0	0	0	0	
	件									
入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円			22,157				
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	(A)事業費計	千円	0	0	0	22,157	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	13,197	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	11,811	0	0	0
		正規職員従事人数	人	0	63	0	50	0	0	0
		延べ業務時間	時間	0	1,490	0	1,500	0	0	0
(B)人件費計	千円	0	5,936	0	5,976	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	5,936	0	28,133	0	0	0		

事務事業名	衆議院議員総選挙事業	所属部	選挙管理委員会	所属課	選挙管理委員会事務局
-------	------------	-----	---------	-----	------------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 <b>今年度実施なし</b>
	②28年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 <b>次年度なし。</b>
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 <b>成果は、当然ながら管理執行上の問題が0件である（無い）ことが求められており、前回同選挙において発生した開票録の記載ミスについては、チェック体制を複数で行うことにより、次回以降の選挙では、ミスが0件となるように執行する。</b>
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <b>他に類似するものがない</b>
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 <b>事務手順の見直しにより効率化を図り、従事者の削減、開票時間の短縮が望める。</b>
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 <b>事務従事者に正規職員以外の賃金職員を一部採用しており、今後も可能な限り、採用を継続していく必要がある。</b>
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 <b>公職選挙法に基づき、すべての有権者に対し執行する選挙であり、受益機会は適正であり、受益負担の考え方はなじまない</b>
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 <b>公職選挙法に基づき、市選挙管理委員会を実施する管理執行事務であるため、他に移行できない。</b>

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

今年度実施なし

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p> <input type="checkbox"/>廃止   <input type="checkbox"/>休止   <input type="checkbox"/>目的再設定   <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携   <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)  <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善)   <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)  <input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) </p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						